平成２８年度　公益財団法人青少年野外活動総合センター事業計画

平成２８年度事業計画概要

⑴　野外活動や青少年育成、自然環境保全を行う事業

平成２７年度に実施した事業を引き続き開催ほか、体験的な事業をさらに進める。２７年度は雪不足により、スキーキャンプが中止になるなどが影響を受けたが、今年度はできるだけ気象条件に左右されない会場での実施を目指す。また、当法人は友愛の丘の他に、府立木津川運動公園、大正池グリーンパークにかかわっているが、それぞれの施設で実施する事業間の連携を目指す。この連携により、計画的な広報など、参加者確保を図る。

前述の３施設に来場する方を対象に、自然理解と人の相互理解を深める野外活動プログラム、環境教育プログラムの提供を積極的に行なう。特に大正池グリーンパークにおけるカヌープログラムの本格開始、友愛の丘における高学年向き有料の冒険遊び場の開設などが新規事業となる。

⑵　野外活動や青少年育成、自然環境保全に携わる人材を育成する事業

例年と同様に友愛の丘キャンプカウンセラーの育成をおこなう。また京都府受託事業として野外活動指導者育成事業を実施する。

また城陽五里五里の丘において、森づくりボランティアである「森守クラブ城陽」の他に、花壇ボランティア、紙ヒコーキ指導ボランティア「城陽五里五里紙ヒコーキくらぶ」、高校大学生ボランティア「パークカウンセラー（仮称）」などの育成をおこなう。

⑵　野外活動や青少年育成のための運動施設、自然環境保全施設を管理運営する事業

平成26年度より、木津川運動公園の指定管理者として「府民と協働で、山砂利採取地を豊かな森に再生する」「森を学び・楽しむプログラムを提供する」「芝生広場や水辺など美しい公園の維持管理を徹底する」を基本方針とし、山砂利採取跡地の自然再生、地域の歴史や文化を踏まえた里山の復元や特色ある森づくり等、多様な主体の参画・連携による、府民が育てる緑豊かな公園整備に取り組んでいるが、引き続き事業を継続発展させる。

特に今年度からは地域ぐるみの公園運営を目指し、府民から講師をえらび健康作りからあそびや文化活動を展開する「公園パートナー事業」。近隣の事業者に参加していただいて毎月飲食と物販の市場を開催する「はらっぱマルシェ」。比較的利用の少ない平日午前を活用してグラウンドゴルフなどの球技ができるように近隣サークルに開放する「オープンディ事業」など、地域連携を深めていく。

⑶　野外活動や青少年育成のための宿泊施設、レクリエーション施設を提供する事業

収益事業として、友愛の丘宿泊施設・バーベキュー施設の運営を例年通り行なう。公益法人として公益事業を促進するためには、収益事業の安定的な運営が欠かせない。平成２８年度は、さらに利用促進を図り、収益事業の経営を安定させ、公益事業への貢献を目指す。

⑷　野外活動や青少年育成を行う団体と連携、協力する事業

平成２７年度に引き続き井手町野外活動センター大正池グリーンパークに指導職員を派遣し、運営に協力していく。また野外活動を中心とした他団体との交流を深め、関連ネットワークへの積極的な関与を行なっていく。

⑹　この法人の事業に関する書籍等を発刊する事業
　野外教育に関する書籍等の具体的な発刊にとりかかる。

A.公益事業
A-1. 野外活動や青少年育成、自然環境保全を行う事業

A-1-1. 季節のウィークエンド事業の開催

　四季の自然を生かした子どもキャンプを、幼児から中学生までを対象に開催する。自然を楽しむ遊びと、自然の中での共同生活を展開する。夏休み期間にはサマーキャンプとして複数の事業を集中して行う。事業を展開するフィールドは、友愛の丘、木津川運動公園、大正池グリーンパークを主とし、夏には山や海、冬にはスキーなども行う。なお貸切バス移動と宿泊を伴う遠征事業は、株式会社ハロートラベルの主催事業として開催する予定。

6月18日（土）～19日（日）	１泊２日ウィークエンドキャンプ※	幼児・低学年
7月25日（土）～26日（日）	１泊２日はじめてのキャンプ	幼児・低学年
7月25日（月）～26日（火）	１泊２日カヌーキャンプ　※	小学生～中学生
7月27日（水）～28日（木）	１泊２日カヌーキャンプ　※	小学生～中学生
7月29日（金）～30日（土）	１泊２日カヌーキャンプ　※	小学生～中学生
7月30日（土）～ 1日（月）	２泊３日いきものキャンプ	幼児・低学年
8月 3日 （水） ～ 6日（土）	３泊４日川の子ども自然村　※※	小学生～中学生
8月8日 （月） ～11日（木）	３泊４日海の子ども自然村　※※	小学生～中学生
8月10日（水）～28日（日）	18泊19日森の子ども自然村	幼児・低学年
8月22日（月）～23日（火）	１泊２日カヌーキャンプ　※	小学生～中学生
8月24日（水）～25日（木）	１泊２日カヌーキャンプ　※	小学生～中学生
9月17日（土）～18日（日）	１泊２日ウィークエンドキャンプ	幼児・低学年
11月12日（土）～13日（日）	１泊２日ウィークエンドキャンプ	幼児・低学年
12月17日（土）～18日（日）	１泊２日ウィークエンドキャンプ	幼児・低学年
12月25日（日）～27日（火）	２泊３日スキーキャンプ　※※	小学生～中学生
1月7日（土）～9日 （月）	２泊３日雪遊びキャンプ　※※	幼児・低学年
3月18日（土）～20日（月）	２泊３日春スキーキャンプ　※※	小学生～中学生

※はNPO法人大正池環境サポートセンターとの共催
※※は株式会社ハロートラベルの主催（予定）

A-1-2. 年間の子どもクラブ事業

幼児から中学生までを対象にした、年間継続の自然体験活動クラブを以下のとおり開催する。

リトルちきゅうくらぶ（幼児対象)、ジュニアちきゅうくらぶ（小学低学年対象)、パイオニアアドベンチャークラブ（PAC、小学４年から中学生）の４部門。ほぼ毎月１回の活動。

サタデーキッズクラブ（幼児から小学４年の縦割り）はほぼ毎週土曜日の活動。

「森のようちえん事業」として、乳幼児とその保護者を対象に「コキッズ倶楽部」を月４回開催する。

A-2. 野外活動や青少年育成、自然環境保全に携わる人材を育成する事業

A-2-1. 友愛の丘キャンプカウンセラー育成事業

大学生を中心としたキャンプボランティア（友愛の丘キャンプカウンセラー）を育成する。年間にわたり研修を実施し、上記 A-1 の事業の指導運営に関わらせる。友愛の丘および大正池グリーンパーク利用者の野外活動への援助や、場内の管理作業を担当させる。また、指導者育成のカリキュラム化を進め、キャンプ指導に関連する資格を認定できるよう準備する。

毎週火曜年間 36 回のセミナー研修、1 泊研修合宿４回

A-2-2. 野外活動指導者育成事業

京都府から委託された青少年野外活動指導者育成事業を実施する。また、定期的に開催する各種の勉強会、厳冬期トレーニングを目的とした長期の「パイオニアキャンプ」などのトレーニング事業を年間にわたり実施する。

8 月 14 日（日）～18 日（木）	4 泊 5 日中高生キャンプ	中学高校生
9 月 8 日（土）～9 日（日）	1 泊 2 日リーダー交流研修	学生、一般
2 月 15 日（水）～22 日（水）	6 泊 7 日パイオニアキャンプ	学生、一般
2 月 27 日（月）～28 日（火）	１泊２日カウンセリング研修	学生、一般
3 月 25 日（金）～28 日（土）	２泊３日中高生キャンプ	中学高校生

A-2-3.　この法人の事業に関する書籍等を発刊する事業

定款に基づき、野外活動、自然環境保全、人材育成に関して書籍発刊を前提とした冊子を作成する。

A-3.　野外活動や青少年育成のための運動施設、自然環境保全施設を管理運営する事業
（京都府立木津川運動公園の指定管理事業）

京都府立木津川運動公園「城陽五里五里の丘」は平成26年春より、当法人が運営している友愛の丘の隣接地に開園し､平成26年4月よりに当財団が指定管理者として管理運営を行っている。平成28年度は3年目として、指定管理期間の最終年度となり、今後も引き続き管理運営に携われるよう、事業の内容もさらに充実したものを目指す。

A-3-1.　府民参画により森を再生する事業

城陽五里五里の丘において、平成18年より京都府主導により、府民参画による森の再生が進められている。当法人は、これを引き継ぐ。京都府や城陽市をはじめ、近隣市町村・市民グループ・学校・福祉施設・企業などと連携し、府民との絆と繋がりを深める。

また本公園が、山砂利採取場跡地活用のモデルケースとなるよう、維持管理を行う。

①府民参画の森づくり活動支援

行政や学識経験者を交えた利用促進会議を開催し､森守クラブ城陽への援助､種子収集、育苗、植樹、集草の堆肥化などに取り組む。特に今年度より未開園区域の植樹が本格化し、1200本程度の新たな植樹を目指す。

②多様な団体等の参画の推進

幼稚園､保育所から大学等に至るまで、教育機関と連携し、さらに地域サークル、団体、企業との連携を図る。

③森の人材育成

子どもからおとなに至るまでの、幅広い人材、リーダーを育成し、公園プレイリーダーを育成する。

A-3-2.　森を学び、楽しむ場を提供する事業

子どもからおとなまでが、自然にふれ親しむイベントを開催する。地域ネットワークを活かし、活動団体と連携して府民参画を図る。

環境教育プログラムを実施する。手軽なプログラムから、学校向けのプログラム、四季の自然観察会、親子自然観察教室を開催し、環境学習の支援スタッフの配置などを行う。

①森を活かした季節のにぎわいイベントの開催（イベントは現時点）

毎月のはらっぱマルシェ
はらっぱブラス in KYOTO（5月）
紙ヒコーキフェスタ（8,9月）
親子たなばたまつり（8月）
城陽青年会議所の行事への協力（9月）
てんとうむしマラソンへの協力（9月）
緑化まつり（城陽市緑化まつり実行委員会主催）への協力（10 月）
ニュースポーツフェスタ（11 月）
熱気球フェスタ 2016（11 月）
親子ゆめひろば（ゆめっと京都主催）への協力（2 月）

スプリングフェスタ（3 月）

②環境学習プログラムの提供

手軽なセルフプログラムの提供、学校団体向けプログラムの用意、開発

みつけてビンゴの実施、活動パンフレットの作成

四季の自然観察プログラムの実施

生きもの塾、生きものみつけ

環境学習支援スタッフの配置

③青少年対象のプログラム展開

宿泊をともなう青少年対象環境教育プログラムの実施（年2回程度）

プレイパーク、幼児プレイパークの開催

④一般対象のプログラム展開

森づくり学習講座（月1回開催）

ジョギング、ウオーキングコースの設定

各種健康スポーツ教室の開催

ヨガ、3Ｂ体操、太極拳、ノルディックウオーキング、健康体操、グラウンドゴルフ

カーリンコン

各種文化講座の開催

大正琴、ハンドクラフト、手話講座

A-3-2.　自然と文化を感じる快適な空間づくりを行う事業

誰もが安心して楽しむことのできる公園づくりを行うとともに、里山の風景を再現することを目標に、適応した樹種を選別し、育成する。

場内の調整池周辺には､チガヤやオギの風景を｡中央には美しい芝生と原っぱの風景を。果樹林では、地元品種に限定した果樹林を、自然の多様性や連続性の点から維持管理を行い、来園者にとって気付きの多い公園づくりを目指す。

特に今年は、池周辺の草地の管理方針を明確にし、オギ原の出現を目指すべく、草刈り頻度と高さを厳密に調整し、多様な生物の生息地として、環境学習の場となるような管理を目指す。また、古来からの里にあった風景や花々の導入を目指し、水田の活用に加え、ニホンスイセン、カンゾウ、ヒガンバナ、レンゲソウなどの植栽を行なう。

B.収益事業

B-1. 野外活動や青少年育成のための宿泊施設、レクリエーション施設を提供する事業

B-1-1. 友愛の丘施設運営事業

友愛の丘宿泊施設では、野外活動のほか宿泊・合宿・研修・修学旅行などに利用がある。野外施設も家族、職場レクリエーション、学校遠足など多くの利用があり、例年年間延べ約 3 万人が利用する。

施設の提供だけでなく、野外活動の援助、指導のほか、環境学習のためのプログラムの提供などを行なう。

①バーベキュー場、キャンプ場の開設

期　間　　通年　水曜休館（夏休み期間など一部を除く）

内　容　　青少年団体、家族、地域グループ、サークル、学校、
その他各種団体のバーベキュー、キャンプ等の野外活動

②宿泊、研修所の開設

期　間　　通年　水曜休館（夏休み期間など一部を除く）

内　容　　青少年、学生、児童、その他青少年団体の集団生活指導、研修

B-2. 野外活動や青少年育成を行う団体と連携、協力する事業

B-2-1. 大正池グリーンパーク協力事業

城陽市南隣りの井手町野外活動センター「大正池グリーンパーク」(NPO 法人大正池環境サポートセンター運営）に職員を引き続き派遣し、管理運営に協力する。

B-3. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

B-3-1　丘の上ダイニングと陶芸教室への場所貸与

友愛の丘本館の一部を「丘の上ダイニング」に貸与する。また本館の一部を陶芸教室に貸与する。

B-3-2　施設の改善

友愛の丘施設の改善を随時行なう。

以上